

平成30年度 第4回大和市文化創造拠点等運営審議会 会議要旨

1. 日 時 平成31年3月14日（木） 午後1時30分～午後5時20分
2. 場 所 中央林間図書館、市民交流拠点ポラリス、文化創造拠点シリウス
生涯学習センター601講習室
3. 出席状況 委 員 5名
事 務 局 6名（文化スポーツ部長ほか5名）
指定管理者7名（やまとみらい統括責任者、芸術文化ホール館長、図書館長、中央林間図書館長、生涯学習センター館長、市民交流拠点ポラリス館長、屋内こども広場館長代理、屋内こども広場担当者、防災センター所長、）
4. 傍 聴 人 なし
5. 次 第
 - 1 開会
 - 2 議題
 - （1）平成30年度指定管理者の評価について
 - 3 その他
 - 4 閉会
6. 会議資料
 - 指定管理者の評価について
 - 平成29年度大和市文化創造拠点評価書
7. 公開・非公開の状況
■公開 □非公開 □一部非公開

<会議要旨>

- ・中央林間図書館、市民交流拠点ポラリス及び文化創造拠点シリウスにおいて、現地視察及び運営状況などについて、指定管理者から説明を受けたのち、以下のとおり議事が行われた。

1 開会

事務局より委員の出席状況と会議の成立について報告を行った。

2 議題

（1）指定管理者の評価について

事務局より平成30年度分の指定管理者の評価について説明を行った後、指定管理者より、平成30年度の主な事業の報告を行った。

- ・全体報告（融合事業、広報活動等）
- ・各施設からの事業報告
- ・その他（防災訓練等）

【委員発言】

委 員 : これまでの指摘が改善されてきている。指定管理者が作成する広報誌を新聞折り

込みで配布するという手法は極めて有効だと思う。同じものが公共施設にも多く配架されているのも良い。

利用者を年代別に捉えたとき、小中学生の利用が少ないと感じる。年代別の利用者の分析があると、次の展開に役立つのではと思った。

委員：現地視察や事業報告を受け、力強い根源的な取組の状況が良くわかった。
指定管理者の評価にあたっては、共同企業体の中の事業者同士や行政との繋がり、あるいは、どれだけ市民を巻き込んでいるかということが、市民が誇りに思える施設になり、市民がさらに活用することに繋がると思うので、融合の部分の評価する項目が追加されると良い。

委員：前述の委員の意見に強く共感する。
市民参加や市民団体とのコラボレーション企画などに感銘を受けた。大和市を題材としたオリジナル演目を創造した市民参加型事業は素晴らしい。また、高齢者対象の講座から、自立した活動へとシフトしていく事業も素晴らしい取組である。一方で、これらの取組が体系化され全体像が掲げられた中で、どの部分に紐づけられる事業なのかなどの説明が加わると、魅力的な取組であることがさらに伝わるといった。複合施設ならではの視点を前面に出した報告がもっとあってもよかった。

委員：施設美化に力を入れているとの説明どおり、どの施設も清掃が行き届いており現地視察をしていて非常に気持ちよかった。
幅広い多くの来館者がある開かれた施設であるが故、危機管理の面において、不審者等への対応についてスタッフ同士がどのように共有しているのか、次回、評価の折に聞かせてほしい。

委員：いろいろな事業やイベントに人々が集まり、散じていく中で、こうしたプログラムはご縁づくり、「文化縁」を生む装置（機会）でもある。文化施設の取組のゴールとして数種の指標が一次的にあり、その先にメタゴールがあるとすれば、地域における新しい形のご縁づくりであり、時にはそれが地域のセーフティネットに変わることもある。東日本大震災の例にあったことを想起したのだが、そうしたメタゴールを見据えて事業展開されると良い方向になっていくと思う。今日の報告の中で、新しいサークルが立ち上がった話題があったが、今度はそのサークルをどのように支援していくかが次のプログラムになっていくものと思う。
次回までには事業報告書や評価案が作成されるとのことなので、今日の委員意見も意識した内容になることを期待する。
我々審議会を含めた三者で協力して、より良い施設づくりを進めたい。

3 その他

- ・今後のスケジュールについて、事務局から説明を行った。

4 閉会（公開）

以上